

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
提案件名	敷地山側からの地下水量を低減する提案 3案：遮水鋼矢板連続壁による地下水流入抑制
提案者	中部電力株式会社
1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)	
<p>&lt;施工概要&gt;</p> <p>原位置土とセメント系懸濁液を複数軸の削孔混練機構により混合・攪拌し、原位置に壁体を構築し、中央に遮水鋼矢板を配置する。</p> <p>&lt;特徴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な耐久性を持つ恒久対策である。</li> <li>・周辺地盤を乱さないため、近接施工が可能。</li> <li>・施工時の騒音、振動が少ない。</li> <li>・ほとんどの地盤条件に適合できる。</li> <li>・原位置土混練方式であり一工程で造成可能なため、壁式と比較し工程短縮が期待できる。</li> <li>・鋼矢板を挿入することで、剛性が高く、非常に遮水性がよい。</li> </ul> <p>&lt;工事概要&gt;</p> <p>(A案) 流入抑制対象1～6号機 (B案) 流入抑制対象1～4号機 施工延長：A案約4.6km B案約3.7km ※隔離すべき汚染源や施工エリアの状況が正確に把握できていないため、最大限の範囲を設定した。</p> <p>施工深さ：A案平均19.6m B案平均20.4m (T3部層砂岩より下部へ2m根入れ)</p> <p>壁面積：A案91,000m<sup>2</sup> B案75,000m<sup>2</sup> (施工延長×平均施工深さ)</p> <p>削孔径：φ850mm 鋼矢板：B=400mm t=15.5mm</p>	
	
2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>○管理型廃棄物最終処分場における「鉛直遮水工」、土壌汚染の拡散を防止する「封じ込め工」に適用されている。</li> </ul> </li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点</li> <li>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</li> </ul>	